

2011年3月、旅する人を満たす 5ヶ年に渡る全客室グレードアップがまもなく完了。 5・6階 スーペリアフロアリニューアル&スーペリアキング誕生 総工費 9億円

京都東急ホテルでは、2010年12月末より2011年3月5日までスーペリア2フロア含む客室計198室をグレードアップ改装。今回の改装は、京都を拠点にした世界的な活躍で脚光を浴びる建築家「岸和郎氏」が手がけ、「古都のやすらぎ」をテーマに上質な空間が展開されます。また、海外エグゼクティブクラスやゆとりを求める顧客層をターゲットに、幅2mのキングサイズベッドを導入した新客室「スーペリアキング」30室も新設。これにより、2007年より5ヶ年、総工費9億円をかけて進めてきた全客室432室のリニューアルが完了します。



新スーペリアフロア・コンセプト

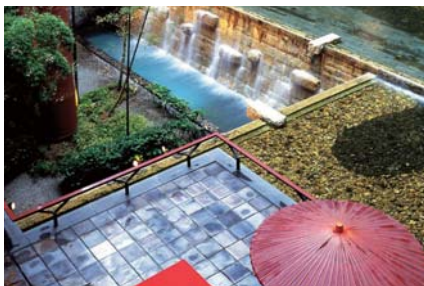
「古都のやすらぎ」

新しくなったスーペリアフロアに再現したのは、京都独自の文化のエスプリと伝統がつむぐ、ゆったり上質な時空間。現代的なホテルスペックの持つ機能性と快適性が、古都のエッセンスを織り込んだアートワークと溶け合い、京の風景や温度・質感をやすらぎとともに訪れる人へ伝えていく。

くつろぎのグレードアップ

全室インターネット接続を無料化。京の旅を更に快適＆便利にサポート

- インターネット接続 VDSL 方式を無料提供
- 全室にシモンズ社ポケットコイルマットレス
清潔感あふれスタイリッシュなデュベスタイル
テンピュール社製ピロー設置で上質の快眠空間
- LED照明 = エコ配慮
LED照明を、室内照明・フロアダウンライトに
- 全室マイナスイオンドライヤー
ハイグレード29㎡「スーペリアキング」には
ナノイオンタイプのドライヤーも
- バスルームアメニティ
資生堂アロマシリーズ導入



旅を楽しみ、伝統に触れ、
本物を愉しむ大人の旅上手へ

新客室タイプ (5・6階で計30室)

スーペリアキングルーム 誕生

いにしへの流れ「堀川」を再現した京情緒あふれる滝と竹林の中庭を窓からの借景とする「Japanesque Garden View」(厳選20室/全30室中)の贅を尽くしたルーム。最高の寝心地を約束する「シモンズ社」ポケットコイルマットレスを用いた2m幅のキングサイズベッドで手足を伸ばし旅の疲れをゆっくりと癒せます。



京を感じるステイ空間
「触れられるアート」

京都で活躍中の若手テキスタイル作家「堀ノ内麻世」が京都特有のディテールにインスピレーションを受け生み出した「触れられるアート」が空間を演出

エレベーターホールは、石庭や寺院の石畳、縁側の障子など京都古来の風景をデザインに置き換え再現したカーペットや、京の通りを歌った数え歌のアートワークで、ゲストをお出迎えます。

地下天然水 (natural water)

地下80mから汲み上げた安全で美味しい地下天然水を丁寧に濾過して、客室の飲料水や洗面・シャワーのお水として使用

開業当時より毎日汲み上げられる地下天然水は体にも肌にも優しい鴨川水系、ミネラルをバランス良く含んだ口当たりまるやかな軟水。

建築家：岸和郎

1950年横浜市生まれ。1973年京都大学工学部電気工学科卒業。1978年同大学大学院修士課程建築学専攻修了。K.ASSOCIATES/Architectsと協同で建築作品多数。主な受賞は、1993年日本建築家協会新人賞、1996年日本建築学会賞など。現在、京都大学大学院教授。